

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1158	(H.24)No.	1158
-----------	------	-----------	------

事務事業名 中学生地域ふれあい事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	学校教育室	和南義一	63-7882
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 13 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	481501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	中学生地域ふれあい事業
項	中学校費	(小事業名)
目	教育振興費	中学生地域ふれあい事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象にして、職場体験活動を地域ぐるみで実施し、生徒の望ましい職業観、生徒の個性の伸長を図ります。	

めざす効果(事業目的)
生徒自身が、望ましい職業観を身につけ、自分の生き方を考えるために、不可欠な事業です。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 6月～11月の間に、市内全5中学校で、3日ずつ職場体験学習を実施。 名張中学校 3年181名 68事業所:200,000円 赤目中学校 2年128名 51事業所:160,000円 桔梗が丘中学校 2年102名 35事業所:120,000円 北中学校 3年166名 49事業所:200,000円 南中学校 2年100名 35事業所:120,000円	[事業内容(事業量)・事業費] 6月～11月の間に、市内4中学校で、3日ずつ職場体験学習を実施。 名張中学校 3年179名 65事業所:220,000円 赤目中学校 2年145名 50事業所:180,000円 北中学校 3年185名 50事業所:220,000円 南中学校 2年1114名 40事業所:140,000円 桔梗が丘中学校は、平成23年度までは、2年生で実施してきたが、学校行事の見直しのため平成25年度から3年生で実施するため、本年度は実施しない。	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	800千円	760千円	880千円	880千円	880千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0) 800	760	880	880	880		
人工数							
職員	0.10人	0.08人	0.10人	0.10人	0.10人		
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人		
概算人件費	(0千円) 747千円	601千円	747千円	747千円	747千円		
+ 総事業費	(0千円) 1,547千円	1,361千円	1,627千円	1,627千円	1,627千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	1人あたりの事業所数	-	-	-	3.0	4.0
	実績		2.6	2.7	2.8	2.8	
活動指標	目標	参加者の割合(参加対象者の割合:市内全中学校1学年分全員参加の場合を100%とする)	-	-	-	-	-
	実績		100	100	100	100	
成果指標	目標	学校に満足している児童生徒の割合	-	-	-	-	90.0
	実績		88.1	87.0	89.5	-	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
地域や企業・関係機関の協力により、生徒自身が望ましい職業観を身につけ自分の生き方を考えることができた。キャリア教育の充実を図るためにも不可欠な事業である。	商工経済室や名張市商工会議所、ロータリークラブ等と連携を図りながら受け入れ事業所を拡大していきたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
キャリア教育の充実を図るためにも不可欠な事業。	地域に理解をいただき、地域ぐるみで職場体験学習を通じて、生徒の望ましい職業観・生徒の個性の伸長を図るためにも重要な事業である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
来年度は、市内5中学校が実施となるため。

特記事項